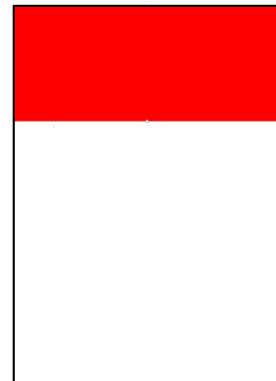


## POPを作ろう（１）

スーパーに掲示してあるようなPOPを、作ってみます。（１）では、まずはふつうにPOPを作ります。ワードアートの変形や、文字間隔（カーニング）の練習です。（２）では、（１）のデザインでたくさんのPOPを作る方法を、研究してみます。

①ワードで、新規文書を開きます。「表示」タブ→「１ページ」で、ページ全体が見渡せるようにしておきましょう。

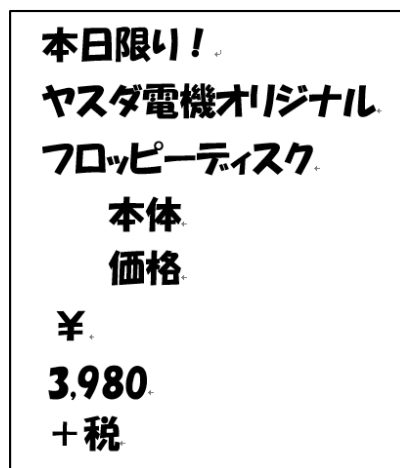
②四角形を挿入し、枠線なし、塗りつぶしは赤に設定します。幅210mm、高さ90mm程度に設定して、上部に配置します。



③なるべく単純なワードアートを挿入し、「本日限り！」と入力。フォントは、POP体、黒で塗りつぶし、影なしに設定します。大きさは、適当（36pt前後）でOK。



④他のワードアートは、③をコピー→入力内容を変更して、手早く作ってしまいましょう。  
「本体価格」は、「本体」のあとで改行を入れて2行にしてください。

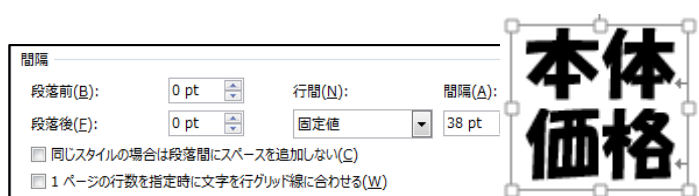


以上で、材料がそろいました。このあと、それぞれのパーツを、配置・調整します。

⑤「本日限り！」の文字は、塗りつぶしを黄色、輪郭を青、輪郭の太さは3ptに設定します。



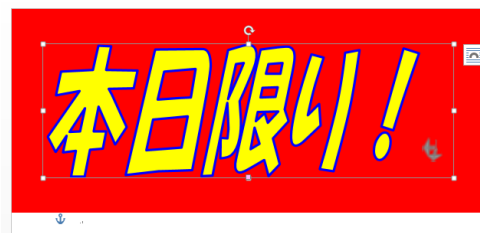
⑥「本体価格」は、行間が広すぎますね。「ホーム」タブ→「段落」のダイアログボックスランチャーをクリックして「段落」ダイアログボックスを表示し、行間を38pt程度に設定します。（「行グリッド線に合わせる」のチェックを外さないと、うまくいきません。）



⑦「¥」と「3,980」は、塗りつぶしを赤にします。

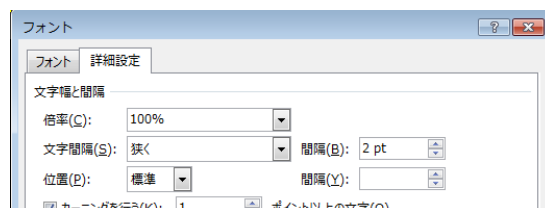


⑧「本日限り！」を、「ホーム」タブ→「斜体」にします。さらに、「書式」タブ→「文字の効果」→「変形」→「四角」として、上部の赤い四角形上に配置し、ハンドルを使って拡大しましょう。

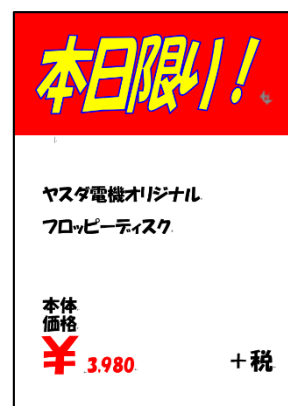


※ワードアート自体は赤い四角形の中央に配置しても、右側の余白が左側より大きく見えます。しかし、印刷プレビューをすると、ちゃんと中央に配置されています。変形したワードアートは、画面の見た目が印刷結果とやや異なることがあるので、注意してください。

⑨⑧の文字間隔を、もっと詰めたいですね。「ホーム」タブ→「フォント」のダイアログボックスランチャーをクリックして「フォント」ダイアログボックスを表示します。「詳細設定」タブで、文字間隔を「狭く」「2pt」に設定してみましょう。



⑩ほかのパーツは、右図のように配置します。「¥」は 100pt に、「+税」は 48pt にしてください。



⑪「フロッピーディスク」は、「本日限り！」と同様に、「文字の効果」→「変形」→「四角」にして、用紙の幅いっぱいになるように拡大します。

⑫「3,980」も、「文字の効果」→「変形」→「四角」にして、拡大します。さらに、文字間隔を「狭く」「2pt」に設定しましょう。

⑬文書を、名前を付けて、保存します。



〔練習問題〕

(1) 「印刷プレビュー」をして、作業中の画面と若干異なる点を確認しておきましょう。

(2) 他にも、いろんなデザインで作成してみましょう。

